

2024年5月22日

各位

会社名 GMOメディア株式会社
代表者 代表取締役社長 森輝幸
(コード番号 6180 東証グロース)
問い合わせ先 常務取締役 石橋正剛
管理部門統括
TEL 03-5456-2626

2024年12月期 第1四半期決算 質疑応答集

2024年5月8日に公表した当社の2024年12月期 第1四半期決算に関し、当社で想定していました質問および公表以降に株主様、投資家様などの方々から頂戴したお問合わせ、感想につきまして、その内容と回答を以下の通りお知らせいたします。なお、ご理解いただきやすいよう、一部内容の加筆・修正を行っております。

【連結業績について】

Q：業績予想に対し利益が好調に進捗していますが、業績予想修正の予定などはあるでしょうか。

A：例年上期に業績を積み上げ、下期に成長に向けた投資を実施しています。2024年12月期も同様に下期で投資を予定しているため、現状は業績予想を据え置きとします。今後の業績の進捗を確認しながら、修正がある場合は適時開示にてご報告させていただきます。

Q：昨年同時期に比較し人員が37名増員となっていますが、御社の人材計画について教えてください。

A：増員のうち1名は新卒、残りが即戦力となる経験者層です。特に成長事業と位置付けているコエテコやクリエイティブへの人材拡充を積極的に行っています。現状は、人材の拡充については十分に行えたと考えており、今後はAI・RPAの積極的な活用により、生産性を高めていきます。

【メディア事業について】

Q：メディア事業のうち、GMOビューティーが黒字に転換とのことですが、投資フェーズから収益獲得フェーズに移行したとの認識でしょうか。

GMO MEDIA

A：美容医療のチケット販売を行うキレイパスでは実績を着実に積み重ねております。現在、特に投資を行っている美容クリニック向けの SaaS を展開するキレイパスコネクトにおいても、契約件数を伸ばし利益貢献事業へと成長しております。今期からは、収益獲得フェーズへ移行していく見込みです。

Q：メディア事業において、売上高の成長よりも営業利益の拡大スピードが速いようですが要因を教えてください。

A：主にメディア事業において、AI・RPA の活用による生産性向上や事業の収益性改善の効果を受け、営業利益を順調に伸長させることができました。

以上